

参加者・担い手との繋がりづくり居場所の魅力はどう伝えるか？

## 特定非営利活動法人 泉大津市和花（のどか）



# 団体の活動内容

生活上のちょっとした困りごとをお手伝いする「助け合い支援活動」と、地域の子ども・子育て中の方・障がいの ある方・高齢の方が、歩いて行ける場所で気軽に立ち寄れる「コミュニティサロン」を営んでいます。

「コミュニティサロン」は、現在毎週月曜・木曜に開催、2018年度は87回開催、延べ1,191人が参加しました。

<活動開始時期> 2017年4月

<メンバー数> 26名

支援会員15名、ボランティアスタッフ11名

# 主な取組について

## コミュニティサロンの開催

子どもから高齢者・障がいのある方・認知症の方・介護をされている方が、気軽に立ち寄れる「憩いの場」を提供する。

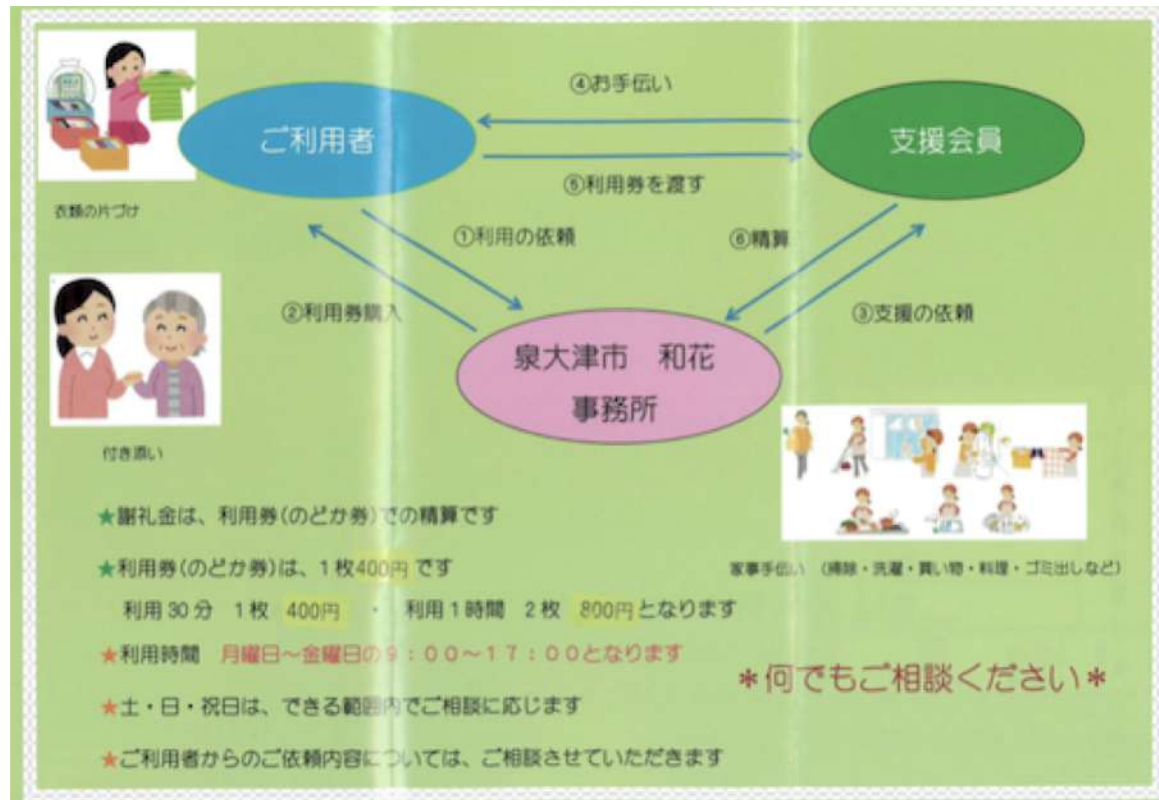
- 月曜日 10:00~12:00 はじめの一步「編み物・小物づくり」  
13:30~16:00 コミュニティサロン和花（カラオケ）
- 木曜日 10:00~12:00 パソコン・スマホ・タブレット「なんでも相談」  
13:30~16:00 コミュニティサロン和花（認知症カフェ同時開催）



# 主な取組について

## 助け合い支援活動

一人暮らし・子育て中・高齢になったとき、身近に頼める人がいなくて困った時に、気軽に頼める「有償助け合い支援活動」を行う。日常のちょっとした困りごとのお手伝いとして、掃除・買い物・部屋の片づけ等行っている。



# 大阪ええまちプロジェクトでの支援

## ■ 課題・悩み

助け合い活動の支援者数が増えない。

サロンに来てくれる方が増えて、サロンを楽しんでくれるだけでなく、支援者になってもらえたり、賛助会員になってもらいたい。

## ■ 解決に向けて

利用者を増やすため、活動が伝わりやすくなるサロンのパンフレットを制作する。



# 参加者・担い手との繋がりづくり居場所の魅力はどう伝えるか？



得意なことを生かす・季節ごとのイベント・楽しく学べる講座の開催など。誰もが主人公となり「再発見」「挑戦!」「交流」が持てるところ